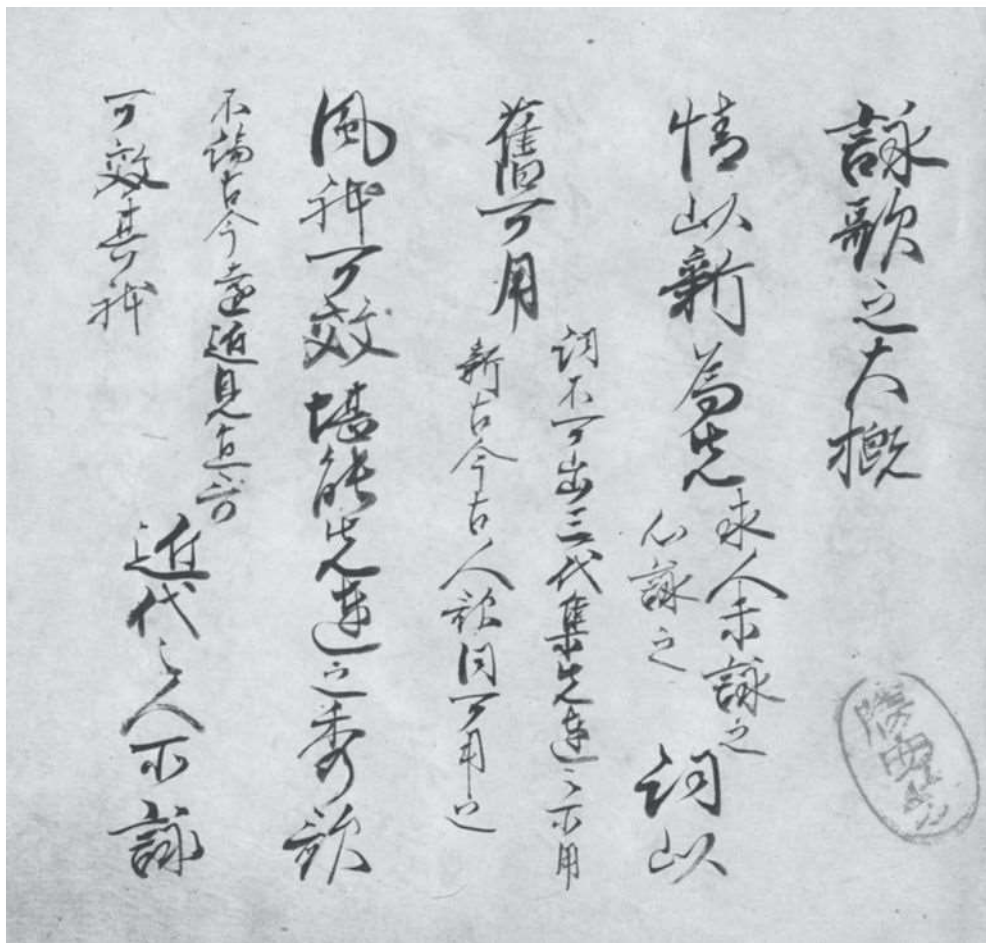


歴史館だより



「三部抄」第二丁表「詠歌之大概(部分)」／勝安芳(海舟)蔵書印

- 特集「三部抄」
 - ・「三部抄」について一内容と成立を中心に一
 - ・家親は二男か!? 三男か!?
- 最上義光歴史館サポーター「義光会だより」No.7
- 最上義光連歌の世界①
- Yamagata三昧「小さなクジラとアメリカ」
- 研究余滴[番外]「ちょっと立ち止まって」

No.24
2017年3月発行



最上義光歴史館

三部抄

「三部抄」 一帖

里村紹巴筆(里村玄仍加筆)

紙本墨書

縦一七・五cm／横一七・五cm

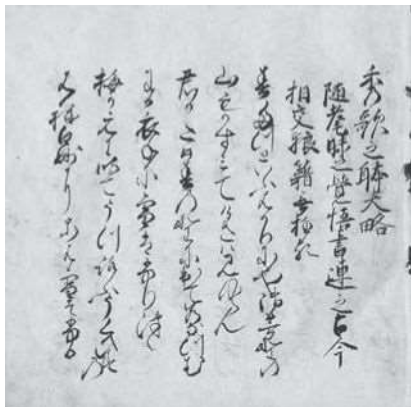
冊子装／四十八丁

桃山-江戸時代(十六-十七世紀)

山形市



三部抄(表紙)



第六丁表「秀歌乃躰大略(部分)」

「三部抄」について

— 内容と成立を中心に —

名子 喜久雄

一 「抄」とは何か

現代で「抄」と言えば、「ある作品などから精選したり、抜き出したりしたもの」の意味で用いられる。ところが、古典では、以下の意味でも使用されている。

- ア さまざまなものを集成したもの
- イ 注釈書

ウ 現代で言えば、ノートにあたる
聞書

西行に仮託された説話集「撰集抄」、鴨長明の歌論集「無名抄」は、アの例である。江戸時代・元禄期の国学者北村季吟が著した「源氏物語湖月抄」は、イの例である。また、室町期の五山僧は、多くのウに該当する「抄物」を残した。(イ・ウの内容は重なることもある)

この「三部抄」ではアの意味で使われている。すなわち「三部」の書を集約したものの意となる。

二 内容

書名は「三部抄」であるが、その内容は、いずれも新古今時代の大歌人にして古典学者藤原定家と何らかの形で関係する五種の書から成る。

- 一は、「詠歌大概」^{えんかの大いがい}。建保三〜四年(一一二五〜六)に後鳥羽院皇子・尊
快法親王(十二〜三歳)のために書いた。初学者のための、和歌に対する心得・基本的な考えが記されている。
- 二は、「秀歌躰大略」^{しゅうかたいのだいりやく}。一とセットになつており、八代集の中から心がけて学ぶべき和歌を示している。(一・二はまとめて一書とされることが多い) 小学館「新編日本古典文学全集・歌論集」に、口語訳も付されて所収。

三は、「百人一首」。内容については周知のことと思う。文暦二年(一一三三)に、定家は、愛息為家の舅たる宇都宮入道頼綱の求めに応じて、「百人一

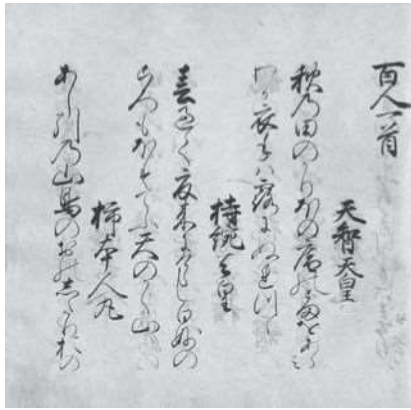
首」の基盤となる百一首から成る「百人秀歌」を選定した。その後、定家または為家が、「百人秀歌」から三首を切り出し、代りに後鳥羽院・順徳院の作を入れたものである。「百人一首」の完成者は、定家・為家の二説あつて定まっていない。多くの解説書がある。

四は、「未来記」。そもそもこの書名は、聖徳太子などの特別な力を有した人物の、未来を予言した書に使われる。ここでは、定家が、後世に和歌が衰えた時の戒めとして、詠むべきではない例を示したものとされる。

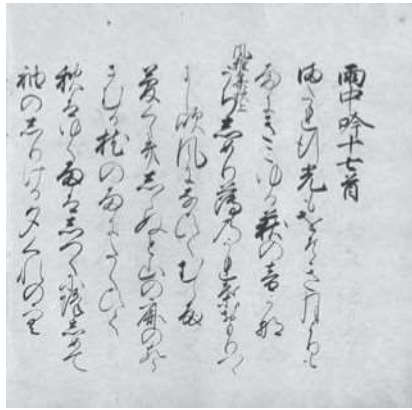
無論、定家仮託の偽書で鎌倉末までの成立とされる。作者は不明。

五は、「雨中吟」^{うちゅうぎん}。四と同じ目的で、定家が自作を集めたとされるが、現在は、孫で一流を成した冷泉家周辺で、延慶三年(一一三一〇)までに成立したらしいと考えられている。(二部の作は、定家の作として、玉葉集などに入っている)

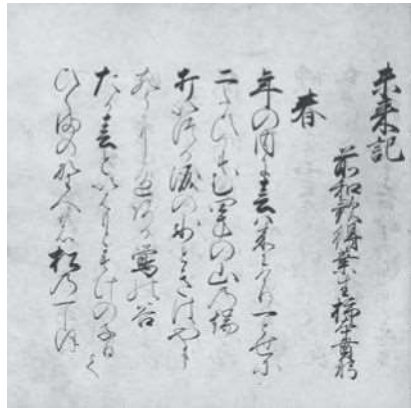
四・五は、一まとめとされることが多く、五種の書の集約ながら「三部抄」と呼ぶ。四・五は、河出書房新社・久保田淳編著「藤原定家全歌集下」に略注などを付して所収。図書館などで手にとっていたきたい。



第三十丁表「百人一首(部分)」



第二十六丁裏「雨中吟十七首(部分)」



第二十丁表「未来記(部分)」

三 成立と流布など

この五種の書は、十五世紀後半には「三部抄」としてまとめられていたと考えられる。誰がまとめたかは不明。為家の子の為氏を始祖とする二条家（中世和歌の主流派）は、室町中期には絶える。ただし、その弟子たちの流れ（二条流・兼好法師も宗祇も紹巴も、

この度、最上義光歴史館が『三部抄』写本を購入した（『山形新聞』二〇一六年八月二十六日記事参照）。『三部抄』は、鎌倉時代前期の歌人藤原定家（一六二〜一二四一）が書いた歌道の参考書で、数多くの写本が作られた。この『三部抄』写本には二箇所にも奥書があり、一つ目のものは「詠歌之大概」「秀歌之躰大略」の末尾に記され（①）、二つ目は残る三つ「未来記」「雨中吟十七首」「百人一首」を含む一番最後

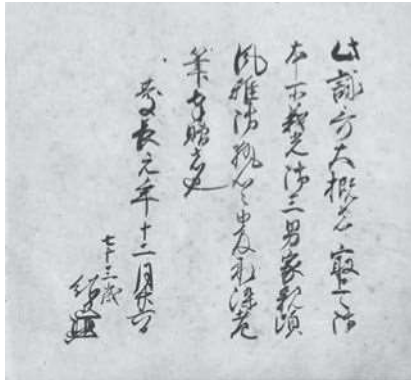
家親は二男か!? 三男か!?

伊藤清郎

それらの流れを受ける）において「三部抄」は、和歌の入門書・戒めの例を示した書として重んじられていく。今川義元は、信長に敗死したため文弱の人とされ評価は低いですが、これらの人々は武家貴族の末裔を自任しており、自分たちが宮廷文化（和歌・連歌・物語など）を学ぶことは当然と考えていた。

の所に記されている（②）。奥書①には「此詠歌大概者、最上之御本所義光御三男家親、頃風雅御執心之由及承、染老筆奉贈者也 慶長二年十二月廿六日 七十三歳紹巴（花押）」とあり、慶長元年（一五九六）紹巴七十三歳の時に書かれた。奥書②には「右三部抄紹巴法眼墨跡之奥染愚筆畢、小野忠明近年依連歌執心、従山形家親朝臣頼所望云々、此度上洛之次一覽之間、加判形者也 慶長十年卯月下旬 素雪

その際、宗祇・紹巴のような連歌師が、身につけた古典の教養を、地方の武家貴族の末裔たちにも伝えたのである。この時代、その教養は、誰が師であるかが大切であった。その中で、紹巴が最上家のために筆を執ったことは、実に意味のあることであった。（山形大学名誉教授）



奥書① 第十七丁裏
「慶長元年十二月二十六日 里村紹巴奥書」

斎玄仍（花押）」とあり、慶長十年（一六〇五）に紹巴の長男玄仍が書いた。この奥書は『山形市史』史料編1（一九七三年）でも既に紹介されている（三〇三頁）。ただここで、従来から諸説のあった家親・義親兄弟の長幼関係が再び浮上してきた。

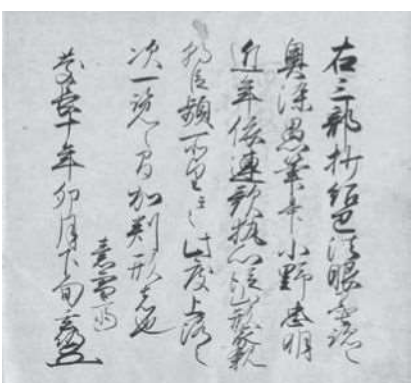
(1) 最上義光の家族についてみてみる。

義光の正妻は、大崎義直の娘で大崎御前と呼ばれ、長男義康・次男家親それに竹姫・松尾姫・駒姫を産む。側室に、天童氏（頼貞）の息女や、清水氏の息女も（清水御前）迎えている。天童夫人は天正十年に義親を産んで死去したとされる。

次に義光の子どもたちを見てみると、長男は義康で、修理大夫に補任された。しかし、熾烈な家督相続をめぐる抗争で、慶長八年（一六〇三）八月に、長男義康は暗殺された。享年二十九歳。次男は家親で、義光没後、最上十二代当主となる。文禄三年（一五九四）十三歳で徳川家康の御前にて元服し、「家」の偏諱を与えられ、駿河守・侍従に補任され、徳川將軍の側近として活躍した。元和三年（一六一七）三月に山形城中で急死したため（享年三十六）、子の家信（義俊）が跡を継ぐが（十三代）、御家騒動により改易され、近江大森藩一万石で移封した。三男は義親（光氏、氏満、満氏とも）で、義光は義親の方は豊臣秀頼に奉仕させ、その後義親は清水城主となり、清水大蔵大夫と称した。義光死後に生じた内紛によって、跡を継いだ兄家親に攻

められ、慶長十九年十月に自刃した。享年三十三歳。四男の義忠（光茂とも）は、山野辺城主で山辺右衛門大夫と称したが、藩主十三代最上家信と対立し、改易事件の当事者となる。五男は義直（光広とも）で、上山城主となり上山兵部大夫（少輔）と称す。六男は光隆で、大山城主となり、大山内膳正と称す。

女子については系図によつて長幼が異なるが、『最上家譜』によると、長女は竹姫といい、氏家尾張守光氏妻となる。次女は松尾姫といい、延沢能登守満延の嫡子又五郎と婚姻した。三女は駒姫（伊満）といい、文禄四年（一五九五）五月、豊臣秀次に嫁ぐが、「秀次事件」に連座し同年八月二日、三条河原で斬罪、時に十五歳。四女は、禰久姫といい、阿波東根家初代となる親



奥書② 第四十七丁裏 里村玄仍奥書 「慶長十年卯月(四月)下旬」

宜の妻となる（拙著『最上義光』〈吉川弘文館、二〇一六年〉参照）。

(2) 家親と義親の長幼関係について

考察する。奥書①に「最上之御本所義光御三男家親」とあり、この段階では義康暗殺事件等、後に生じる問題はないので、最上家や豊臣政権への配慮などは必要ない。里村紹巴が誤つて記載したのでなければ（七十三歳は当時としてはかなりの高年齢である）、次男義親三男家親という長幼関係は動かしようがなくなる。

しかし、『最上家譜』『最上氏系図』『寛政重修諸家譜』所収』『最上家系（光明寺所蔵）』『最上家系図（宝幢寺本）』『最上家系図（常念寺所蔵）』『最上家系図（菊地蛮岳旧蔵）』（義光の三男なり）とある』『清水大蔵公家図書并家来図』（義親 実八最上出羽守之三男）と記す）等、義親（氏満・光氏とも記載）が記載されている系図は全て次男家親、三男義親としている。軍記物語も『最上記』『羽陽軍記』『最上合戦記』『奥羽永慶軍記』『会津四家合考』『莊内物語』『羽源記』『白髭水抄』（鶴岡市史資料編 莊内史料集 1-2）等、ほぼ全て次男家親、三男義親としている。これらは江戸時代

の作のためか、最上家の内実や政権・幕府との整合性をふまえていて、前述の系図と符合が合うようになってい

ただ『最上滅亡記』（石川県加賀市立図書館〈聖藩文庫〉所蔵）は、「嫡子八修理亮、二男八清水大蔵少輔、三男八駿河守ト号ス」と記し、『最上斯波家伝』は、義光に五男がいて、嫡子義康・次男清水大蔵大輔・三男山辺右衛門尉・四男駿河守家親・五男源五郎義俊だとする。さらに『北楯氏先祖代々之覚』（鶴岡市史資料編 莊内史料集 1-2）にも「二栗兵部」「出羽守二番目之子息清水大蔵与一味仕、駿河守方江謀叛企申」とあつて義親を義光の二番目の子とする。これらの記録・覚等はいずれも内容が史実にはほど遠く、その記述部分だけを大写するわけにはいかないが、「次男義親、三男家親」説も根強くあつたこともうかがわせる。したがつて奥書①は、この説を裏付ける一次史料ということになる。

家親・義親ともに天正十年生まれで、母親が異なることなども長幼関係が混乱する原因となつていると考えられるが、いずれにしても長幼関係については今後の課題である。

（山形大学名誉教授）

義光会だより

No. 7
2017年3月



題字 齋藤蕉石

伊達政宗のゆかりの地を訪ねる！

平成二十八年年度現地研修会は、平成二十八年九月二十日最上義光歴史館前のバス駐車場に集合し参加者三十八人全員予定通り、七時に出発しました。

今度の研修は事前に理解を深めるため、事前研修を次のように実施しました。最上義光歴史講座「義光塾」として一回目九月三日、山形大学准教授佐藤琴先生による「松島の歴史と美術」として、松平定信（一七五八〜一八二九）や松尾芭蕉（一六四四〜一六九四）は、自然と人間が作りだした松島の魅力とした。松島は時代の変化に応じて、自然美と信仰をベースに歴史・文学・美術など積み重ねられてきた。また、自然美と人が作り上げた芸術これこそが松島の魅力であります。と佐藤琴先生が締めくくってくれました。

また、「義光塾」第二弾として、九月十七日、山形県立米沢女子短期大学日本史学科教授吉田敏先生による「少しディープな多賀城の歴史？」（ディープ）とは興味深いという意味で多賀城ってどこなところですか？

奈良時代の陸奥国を支配する拠点↓軍事基地↓城柵（じようさく）、発掘調査が進むと↓国府とそっくり？↓官衙（かんが）だった。多賀城前夜・多賀城の創建・多賀城の役割と運命その後の多賀城は平安時代十世紀中頃に終焉となりました。

二つの「義光塾」の事前研修を受けて『伊達政宗のゆかりの地を訪ねて』

へ出発しました。山形から最初の研修は、多賀城遺跡です。ガイドの曾根田時朗さんが待っていてくれました。多賀城は神亀元年（七二四）に大野東人（おおのあずまひと）によって創建された陸奥府と鎮守府が置かれていました。約九百メートル四方という広大な城内の中央には、重要な政務や儀式を行う政庁があり、十世紀の中頃に終焉を迎えるまで、古代東北の政治・文化・軍事の中心地としての役割を果たしていました。発掘調査成果をもとに環境整備が行われており、平城宮跡（奈良県）、大宰府跡（福岡県）とともに日本三大史跡に数えられています。中でも、多賀城碑（壘碑／つぼのいしぶみ）は高さ二百四十八センチ最大幅百三センチのこの石碑は、西暦七六二年に建立され覆室の中に西を正面にして立っています。京などから多賀城までの距離及び大野東人（おおのあずまひと）が多賀城を創建し藤原朝鷹（ふじわらあさかり）が修造したことなどが百四十一文字で刻まれています。日本三古碑のひとつ（国重要文化財・国名勝）の解説



瑞巖寺にて

がありました。多賀城遺跡を後にして、塩釜港から遊覧船で松島湾を遊覧し松島港に着きました。松島町では、瑞巖寺（松島青龍山瑞巖門福禪寺）を中心にガイドの案内で研修しました。瑞巖寺は東日本大震災の時の松島の島々によって守られ最小限の被害ですみました。瑞巖寺は天長五年（八二八）慈覚大師円仁によって開創された古刹で延福寺と呼ばれていました。延福の寺号は天台宗の総本山延暦寺に由来します。正元元年頃（一二五九）臨済宗に変わり寺名も円福寺へと改名されました。現在の建物は慶長十四年（一六〇九）伊達政宗公が桃山様式の粋をつくして五年の歳月をかけて完成させたものです。伊達家の菩提寺である瑞巖寺は桃山時代の真髓を表している荘厳な建物です。特に唐戸や欄間、あるいは襖や床の間の豪華な絵画は日本の自然美を代表する人工美の極致とされています。本堂は平成二十一年より平成の大修理をしておりますが、平成二十八年四月五日より拝観を再開しました。その後、昼食と自由時間の後、松島町から高速道を使い津山町横山（右念山）にある伊達政宗の実弟伊達小次郎と小次郎傳役の小原縫殿之助の墓参り研修をしました。伊達小次郎の墓所は、津山町横山にある長谷寺の南側、右念山の山頂に墓所がありました。なぜ横山の地にあるのか。それには、わずか十三歳にして、兄の手によって命を絶たれた小次郎の悲運が隠されています。天正十八年（一五九〇）豊臣秀吉が天下統一を進め、関東以北制圧の第一歩として小田原城を攻撃した際、政宗はじっくりと戦況を見極めた後、参陣を決意しました。その時、弟である小

次郎を伊達家の藩主にしようとしていた母は、出陣を祝う宴を装って、毒殺を企てますが失敗しました。小田原参陣を目前に、政宗・小次郎、両派の対立が明らかになり、政宗は藩内の意志を統一しようと、「そちに罪はないが、母の罪を問う事はできぬ」と自からの手で小次郎を手打ちにしました。小次郎の遺体は、伊達家の領地であった福島県内の寺に埋葬されましたが、後の国替えによって、旧葛西氏・大崎氏の領地が与えられ、横山の地を母の化粧領地と定めた際に、この地に改葬されました。ここで、政宗毒殺未遂事件について、新しい歴史資料が発見され、諸説がありますが、次の二つの資料から再考が必要と思われます。一つは、義姫が山形への出奔は事件の四年後岩出山からであったことです。二つは、東京都「あきる野市」にある、大悲願寺につたわる法印秀雄について、伊達政宗の弟小次郎であるのではないかという歴史資料が出ています。小次郎の墓の約百メートル離れた場所に、小次郎の傳役である小原縫殿助の墓もありました。このたびの現地研修は、多くの成果を挙げ山形への帰路につきました。今回研修会参加者全員がこれからの活動に活かすことが寛容と思えました。

（伊藤 藤夫）



伊達小次郎の墓（津山町横山）

最上義光連歌の世界①

96 波も音そひかへる釣舟
 97 暮れはつる入江のむらは鐘なりて
 98 やどりさだめぬ袖ぞものうき
 99 わかれつつまた誰をかはとひぬらん

慶長三年(一五九八)卯月十九日

賦何埒連歌

名残の裏

喜呼 景敏 義光 紹由

義光の連歌を解説し、その作品の意図や背景となつている古典教養に言及したい。義光の句を意図を示すために、前句(直前の句)、打越(前句のさらに前の句)の内容を知る必要がある。よつて、今回のように、二句前の96の句まで示すことがある。

96は、夕べに釣舟が自分の港へ帰る姿である。97は、その行く先である漁村が闇に沈もうとしている時に、寺から夕べを告げる鐘の音が響くとする体である。

96の世界の釣舟に乗っている人々は、なりわいのためではあるが、日々殺生を行うので、業の深いものとされた。97では、96に立脚して、「鐘の音」を響かせる。言うまでもなく、「鐘の音」は、罪業を滅消させるものであり、殺生と関わることで大である。夕景の中、釈教・無常の世界が展開される。大むね叙景の句である。

98の句は、無常を背景とした叙景から、人物の独白の体へ展ずる。この人物は、自分の運命を嘆く遊女である。大意は、「自分の住まい(「夫」)を定めることが出来ない(「日々重なる相手が代る」)袖をつらく思ふ」ほど。さらに具体的には、江口(大阪府淀川河口)などの遊女たちが想定される。すでに、平安中期に公任が編んだ「和漢朗詠集 遊女」に

白波のよするなぎさに世をすぐす 海人
 の子なれば宿もさだめず

とある。義光は傍線部を採ったわけである。その他に、「新古今集 羈旅」の作がある。

天王寺へ詣で侍りけるに、にわか雨の降りければ、江口に宿をかりけるに、貸し侍らざりければ、よみ侍りける 西行

978 世の中をいとふまでこそかたからめ かの宿もをしむ君かな 返し 妙

979 世をいとふ人としきけば仮の宿に 心とむなと思ふばかりぞ 返し 妙

世の中を仮の宿とらえ、その世に生きることの難しさを、遊女を罪業とする妙は嘆いている。この贈答は、西行編と考えられていた説話集「撰集抄」・謡曲「江口」に取り入れられ、著名であった。97の無常を軸として、98では恋の情趣も加味されている。

義光の加味した恋の情趣をとらえた紹由は、99で、遊女が「別れた男は、今日、一体どのような女のもとを尋ねるか」と嘆く姿を詠む。このようにして、無常に立脚した叙景から恋の嘆きに、連歌は展開している。

名子喜久雄(山形大学名誉教授)

○平成28年度事業スナップ



○特別展「山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展『山形の記憶』」
 山形大学の学生によるギャラリートーク(8月7日)



○文人・最上義光像の建立
 (山形西ロータリークラブ)
 作者の雨宮透先生(彫刻家/山形大学名誉教授)とツーショット(11月12日)

○街なかぎわいフェスティバル
 2016
 仙山交流!! おすび丸と最上義光武将隊の奇跡のコラボ
 (10月8日)



※最上義光歴史館の最新情報は
 公式ホームページをご覧ください。
<http://mogamiyoshiaki.jp>

小さなクジラとアメリカ

リサ・ソマーズ

3月末、家族で妹のところ遊びに行きました。8年ぶりの帰郷で、アメリカ中から親戚が集まり、単なる里帰りから大々的な親族会に発展しました。

山形に来てから初めてのアメリカ帰りなので、わざわざ会いに来てくれる親戚に山形らしいお土産を持っていきたい。けど何にするか、随分悩みました。

季節だったとしてもサクランボみたいな生ものは難しいですね。美味しいただちゃ豆の加工品もたくさんありますが、日本人ほど枝豆に親しんでいない親戚にはインパクトが今ひとつでしょう。こけしで遊ぶ年齢の子どもも親戚にはいないし。山形らしい、しかもみんなに喜んでもらえるお土産…。と思ったら、丁度いいものが閃きました。以前見つけた鑄物のクジラの箸置き、それだ！

この箸置きは様々な意味で、かなり理想なお土産でしょう。普通の鑄物はかなり重さもありますが、6センチほどのこの箸置きは何個でも楽々持っていきます。和・中・アジアの料理全般が流行っているアメリカでは、最近家庭でも箸を使う人が多くなり、箸置きは実用的なプレゼントにもなります。そして愛らしい曲線で優れてデザイン的なこの小さなクジラは間違いなくみんなに気に入られます。

何よりも、このクジラの背景に山形鑄物の歴史物語が広がるのがいいと思いました。まず、この箸置きは日本のどこでも見かけるものではなく、山形市の長文堂という鑄造所で発案されたオリジナルです。長文堂は山形市鑄物町にあり、そこはその名の通り1970年代にできた山形の比較的新しい鑄物工業団地ですが、歴史的には遥か昔最上義光が城下町を整備する江戸時代初頭に多くの鑄物職人が山形に集まってきています。

そして、馬見ヶ崎川の砂と地元の土が鑄物に適したため、山形での鑄物作り自体は平安時代にさかのぼるといいます。

*

やはり、大正解でした。小学生の甥と姪はすぐにクジラごっこを始め、木工などものづくり的な趣味を持つ伯父は早速長文堂のウェブサイトを開き、(日本語が読めないにも関わらず)鑄物のいろいろな商品を見たり、そこに描かれている制作工程を勉強したりしました。

そして別の叔父・叔母とは鑄物の歴史について話しをしたのですが、そこでアメリカの歴史と比較しようとしたら、いきなり壁にぶつかりました。そう、鑄物が山形で栄える義光の時代、アメリカはまだコロンブスが到着したばかりです。アメリカが独立して合衆国になる日はまだ200年ほど先のこと。鑄物が山形で始まった平安時代となると北アメリカ大陸に何があったのか、想像すらつかない…。

アメリカでは50年ほど前のものだと骨董品扱いしたり、比較的短いその歴史を振り返るときも遠い昔のように思いがちですが、日用雑貨であるこの小さなクジラは日本の長い伝統と歴史を軽々と背負っている。鑄物のクジラ、大したものですね。

別れのとき、叔母がいつてくれた言葉は本当に嬉しかった。

「アメリカに持ってきてくれた山形、うちで大切にしますよ！」

Lisa Somers (リサ・ソマーズ) 翻訳者・通訳/山形市在住

平成28年度事業

展示事業

○企画展 《1月21日ー4月3日》

〔第8回〕市民の宝モノ2018 ～日本美術刀剣保存協会山形支部～

○常設展示Ⅰ 《4月6日ー7月6日》

「武士「monof」の晴れ姿 ～最上屏風と合戦図～」

○特集展示 《4月6日ー7月6日》

「最上家の家臣たち」

○特別展 《7月9日ー9月11日》

「山形大学附属博物館・最上義光歴史館 連携展「山形の記憶」」

○常設展示Ⅱ 《9月14日ー1月22日》

「最上家とみやびの文化」

○企画展 《1月25日ー4月2日》

〔第9回〕市民の宝モノ2017

普及啓発事業（主な事業）

○1つでも講座

「ヨシアキ☆すく〜る!」〜山形の殿様、義光公を知ろう!〜

- ・ 9月1日 山形市立鈴川小学校 四年生
- ・ 9月15日 山形市立第一小学校 四年生
- ・ 10月27日 山形市立金井小学校 四年生
- ・ 11月2日 山形市立第七小学校 四年生
- ・ 11月8日 山形市立楯山小学校 四年生
- ・ 11月10日 山形市立第二小学校 四年生
- ・ 11月11日 山形市立第八小学校 四年生
- ・ 11月15日 山形市立第六小学校 四年生
- ・ 11月17日 山形市立桜田小学校 四年生
- ・ 11月25日 山形市立大曾根小学校 四年生
- ・ 12月6日 山形市立第五小学校 四年生
- ・ 12月14日 山形市立南小学校 四年生

○歴史講座 《7月30日・31日》

夏休み特別企画「みんなで学ぼう!!山形の殿様と歴史のひみつ」

○最上義光命日記念イベント 《1月14日・15日》

親子甲冑体験講座

「三日月・カブトを着てみよう!!これでキミも戦国武将だ!!」



ちよつと立ち止まって

長谷勘三郎

地域史研究の一環として、最上義光の周辺を探ってきたつもりだが、ふとこんなことを考えるときがある。

研究を進めるにはより多くの史料を捜して、史料批判を経て客観冷静に考察し、わかりやすい文章にすることが大事だろう。だが、ふるさと山形の歴史となると面倒な事態がはずかす出てくる。

一つは史料不足。山形は特にひどい。まず、中世以前の文書の不足。村山地域では例の大きな石鳥居、いったい何物か。鳥居は何もしゃべらない。最上義光についてなら「言語で表現された史料」はたくさんあるが、これらは、書き手の主観による誤謬とか意図的な虚構が入りこんでいる可能性大で、「真実」を引き出すには慎重さが求められる。

二つめは研究する者の心情的な問題がある。たとえば山形を「ふるさと」とする人間か否かというようなことが微妙に影響するのである。この土地に生まれ、育ち、幾世代にわたって祖先が築き上げた現実の山形。この地に自分も密着して生きていく。こういう感覚や観念が愛郷心となり、時に逆に作用して嫌悪の情となつたりもする。

研究作業に当たっては、研究者相互の協力や競争意識もあろうし、先輩後輩のしがらみもあるだろう。封建時代の大名家が厳然と存在し、所蔵する史料を利用させてもらうような立場になると、ことは冷静客観とばかりはいかないこともありそうだ。

視野の広狭も問題となる。

以前、山形近辺で掘り出された「開元通宝」を、「八世紀の渡来品」と決めつけて疑わなかった例がある。『須川温泉神』は、現在の『蔵王温泉の神』と見てよいのか、秋田側の意見も聞かねばならないだろう。重要な古文書を無視して、想像を自在に繰り広げている研究もある。かと思えば、江戸時代の好事家が、思い付きで執筆した物語類を重要史料のごとく扱っている例もある。

だが……と、考える。これらを一概に非とするわけにもいかないのじゃないか。そもそも、人間はまちがいを犯しやすいもので、これは逃れえぬ宿命だ。だが、幸いにこれを免れる方法がないわけではない。そしてこれが大切なのだが、自分の研究を公表し他者の目で見てもらい、不足を補ってもらふことである。それによつて誤りや不備を修正することができるのだ。論文類を読む、発表を聴く。相互に意見を交しあつて、より確かな歴史を構築していききたいものだ。

平成29年度事業

1. 展示事業

(1) 特別展・企画展

①「仮称」山形大学附属博物館共同企画展

（7月22日～9月10日）

山形大学と連携して、大学で博物館実習を履修する学生が附属博物館の収蔵品を選定し、企画立案から展示等の実務まで学生が参加する展覧会です。

②市民の宝モノ展（継続企画）

（平成30年1月24日～4月）

山形市民を対象に、所蔵する「宝モノ」を募集して、歴史館で選考して展示し、広く一般に公開する市民参加型の展覧会です。

(2) 常設展示

最上義光を主とした最上家関係資料と山形城関係資料、山形に関わる文化財などを展示紹介しながら一部コーナー展示を行います。

①鐵の美（2017）武士と日本刀

（4月5日～7月19日）

②「仮称」霞ヶ城く絵図と発掘資料から

（9月13日～平成30年1月21日）

2. 普及啓発事業

(1) 歴史講座

①こども講座（小学校出張講座）

山形市内の小学校に出向いて最上義光を学ぶ機会をつくり、郷土史に対する関心と理解を深め、愛郷心の育成を図ります。

(2) ボランティアに係わる事業

最上義光と最上家を啓蒙することについて歴史館とともに活動する市民が、ボランティアという形で歴史館のサポーターとなつて、来館者の多様化するニーズに応え、きめ細かなサービスの提供を図るとともに、歴史館を核としたコミュニティを創出します。（年一回サポーターを募集します）

・「義光塾」
・「現地研修会」

※詳細については最上義光歴史館にお問い合わせください。

表紙の写真

「三部抄」 第二表 詠歌の大概 節之ノ勝安芳 海舟 蔵書印

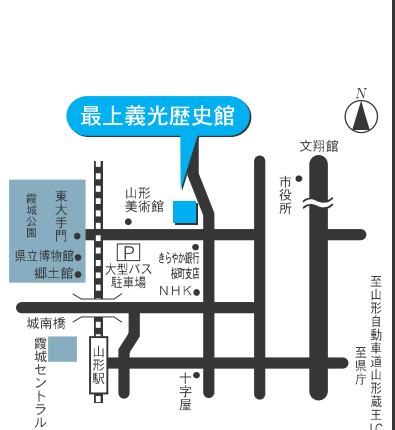
「三部抄」は平成二十八年四月に山形市が購入し歴史館の新収蔵品になった資料です。旧所蔵者である伊藤芳夫氏のご親族が、ぜひ最上家ゆかりの施設に納めたいというご希望から実現しました。本資料は、国文学的な資料として貴重なだけでなく、最上家を研究するうえでも大変重要な情報が記された史料です。

本号では、「三部抄」の内容と成立そして家親の長幼問題について、山形大学の金子喜久雄名誉教授と伊藤清郎名誉教授が解説しています。また、表紙写真の勝安芳海舟の蔵書印や慶長十年の奥書にある徳川將軍家の剣術指南役で一刀流の後継者伊藤忠明（神子上典膳）が家親から譲り受けた記述も注目されています。

ご利用について

開館時間 午前9時から午後4時30分
入館料 無料
休館日 月曜日（国民の祝日となる場合はその翌日）
12月29日から1月3日
交通 J R山形駅より徒歩約15分
大手町バス停留所より徒歩1分

来館案内図



平成29年3月発行
編集・発行 公益財団法人山形市文化振興事業団
最上義光歴史館
〒990-1004
山形市大手町1-153
☎023-1625-1710
023-1625-171002
http://rog.art-yoshika.k.i.d
印刷 株式会社大風印刷
Okaze OKAZE CORPORATION